

メール・チャットの使い方の改善からの働き方改革

日本マイクロソフト株式会社

畠山 大有

DX という言葉は未だ耳にしない日は無いと思います。その恩恵を受けようと様々なチャレンジを多くの自治体・企業などでしています。

これまでの紙と対面での働き方と大きく異なるのは、デジタルデータとそれによって始めて実用的になった AI の存在です。

実はそれらは、既に皆さんが普段お使いの Windows や Office などに組み込み始めています。

ツールがどんなに進化しても、また、働き方改革が叫ばれていても、皆さんお一人お一人のお仕事の仕方が過去と変わらないと、これら IT の進化の恩恵は受けにくいです。

この演習では、皆さんが日々使っているデジタルツールでもある、メールやチャットなどのより効果的な使い方を学びます。働き方は人それぞれです。そのため教科書的な「答え」はご自身で探す必要があります。今回の演習では講師自身が普段どの様にメール・タスク・予定表・会議などを行っているのかを例として提示します。そして、それをご自身の環境で試してみます。ツールが違えば出来ない事もあります。働き方も人によって異なります。

それを「知る」機会となることに、この演習の価値があると思います。

皆さんと一緒に楽しく演習できることを楽しみにしています。



国内外での 300 社以上の IT プロジェクトにアーキテクト及びエンジニアとして関与して約 25 年の経験。業界初として事例化されたものには、フジテレビ、楽天、毎日新聞、日経新聞、富士フィルム、カルビー、コマツなどがある。

また、東芝、SONY、NTT-Data、NextScape など 50 社以上のパートナーと、ソリューション製品・サービスの開発・市場展開も行う。

そこでの学びを、TechEd、de:code、TechSummit、InterBEE などで基調講演を含む場で 400 回以上のセッション登壇。

また、書籍・雑誌や Blog 執筆、サンプルコードの公開などで社会に Feedback 中。セッションだけでなく、100 回以上のハンズオン、ハッカソンのファシリテーションも行っている。